



プロフィール
1963年3月足立区生まれ。東部保育園、弘道小、足立第11中、青井高校を卒業。東京土建足立支部元副委員長。現在は議会運営委員会、文教委員会副委員長、エリアデザイン調査特別委員会。家族は妻と猫4匹。

私は3期12年、くらし最優先の区制の実現を掲げ、区民の声を届けてきました。
岸田政権によるアベノミクス、異次元の金融緩和やウクライナ戦争で、異常な物価高騰が暮らしを直撃、さらに車拡のための増税まで押し付けようとしています。
身近な自治体として、暮らしを守る防波堤としての役割が求められています。
しかし自民、公明党が支える足立区は、生きがい奨励金の廃止、23区で一番高い介護保険料などを押し付けています。
予算の使い方を変え、くらし最優先の足立区を作る、その仕事を引き続きはたの昭彦にやらせて下さい。



くらし、平和、こころ

ご相談ください
くらし・子育て・介護などお困り
電話 区役所控室 03(3880)5770
ごはなんでもご相談ください

隅田川流れる下町で東京大空襲を体験した祖母は、戦火から命がけで子どもを守り、戦後を生き抜きました。
母は、空襲で多くの同級生を失ったこと、戦闘機からの機銃掃射から逃げたこと、その時パロットの顔まで見えたこと、隅田川から遺体を引き上げる光景など、恐ろしい戦争体験を何度も話してくれました。「悲惨な戦争だけは二度と起こしてはいけない」母から子どものころ、繰り返し聞かされた言葉です。岸田政権が進める大軍拡・大増税はまさに戦争の準備であり、絶対に許せません。
高校2年生の時、命がけで戦争に反対を貫いた人がいた。それが日本共産党員だったと知った時の衝撃は今でも忘れられません。
「戦争のない、平和な社会を作りたい」これが私の原点です。

私の原点
平和な社会をつくりたい

日本共産党 足立区議会議員 区議団幹事長

はたの昭彦

秦野あきひこ

長引くコロナ禍と、物価高騰によって、どこでも悲鳴があがっています。区民のくらしを守る施策はまったなしです。



はたの昭彦公式LINE

物価高から暮らしと営業まもります

平和は大軍拡でつukれない
憲法9条活かします



はたのさんに期待します!

区議団の大黒柱です!
参議院議員 田村智子

はたのさんは、約束したことを必ず実行する誠実な人です。論戦力は抜群で、区長や与党も一目置いています。区議団の大黒柱、区議会になくってはならない人です。はたのさんの一層の活躍を期待しています。

庶民の心もった、なくてはならない人!

元足立区長 吉田万三
コロナ対策としての10万円独自給付や、20万円の小規模事業者支援金、コミュニティバス(はるかぜ)への財政支援等を実現。建設現場や健和会友の会で働いてきた、庶民の心を持った政治家です。

私たちの声を届ける宝の議席

新日本婦人の会足立支部長 横川裕子
学校給食無償化を求める陳情を審議する文教委員会で、はたの区議は私たちの声を届け、論戦もバッチリ。私たちの宝の議席、希望の星です。

はたの昭彦 お約束

3つの安心

- | 安心・安全のまちづくり | 福祉・くらし・営業の安心 | 子育て・教育の安心 |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 住民要望のないまちづくりストップ 若者・学生への家賃補助。高齢者・低所得者の住宅支援の充実 首都直下地震や豪雨災害対策の更なる充実を | <ul style="list-style-type: none"> 生きがい奨励金の復活 国保・介護(保険料)の負担軽減 物価高騰に苦しむ中小・零細事業者への直接支援の創設 小規模工事の区内事業者への発注増を進めます | <ul style="list-style-type: none"> 学校給食費の完全無償化 公立保育園31園廃止方針の撤回 給付型奨学金の拡充と要件緩和 |

足立区から日本を変える

- 大軍拡と防衛増税ストップ
- 消費税5%減税、賃金上がる国へ
- CO₂排出実質ゼロの足立区、気候危機打開を
- ジェンダー平等の足立区・日本へ



1 実現 中学校給食費が 4月から 全員無料に

実った1万人近い区民の署名

区政が動いた!



足立区は、区立中学校に通う子ども全員の給食費を4月から無料にすることを明らかに。区政がついに動きました。

文教委員会で唯一、はたの昭彦が求め続ける

次は小学校も無償化を!

お隣の葛飾区も、北区も、4月からはすべての小中学生の給食費が無料に。足立区だってできるはず。財源はあります。私は求め続けます。

自民・公明は賛成せず

区民の声、届けるのは日本共産党はたの昭彦です。

学校給食費を無料にして! という署名は、区議会文教委員会で4回審議。しかし、一度たりとも賛成しなかったのが自民党と公明党です。

2 実現 北綾瀬駅 交渉続け 利便性向上次々と

議員になる前の2006年から北綾瀬駅の利便性向上に一貫して取り組んできました。

毎年のようにメトロ本社と直接交渉を続け、2013年に続き2014年には大幅増発を実現。その後も要望を届け、2019年には直通運転、環7北側出入口の設置も実現。

前回選挙でただ一人、公報で公約に掲げた「駅前交通広場」も2025年完成目指し工事が始まりました。



3 実現 建設現場で働く 仲間の声届ける



ゼネコンの現場で23年間働き、東京土建足立支部元副委員長として、常に働く者の立場で、現場の生きた声を代弁。議会論戦で区内中小建設事業者への工事発注量や住宅改良助成制度の対象工事の拡充等を実現しました。

4 実現 動物との 共生へ



犬猫などの動物は「家族の一員」として大切な存在です。一方、不適切飼育や飼育放棄で居場所を失う動物もいます。私自身も不幸な動物を減らしたいと保護猫と暮らしています。この問題を区議会に取り上げ、区役所敷地内で猫の譲渡会を実現。更に動物保護団体との連携や区の相談窓口も開設されました。引き続き、動物が苦手な人も含め、人も動物も、なにより命が大切にされる社会を作っていきます。



5 実現 高齢者 施策の充実



紙おむつ → 支給! 補聴器補助金 → 2倍! 緊急通報システム → 無料!

足立区は生きがい奨励金を2年前に廃止。区長は昨年の決算特別委員会で「金銭的にも対象人数も廃止前の数には届かず、単なる削減」との指摘を認め拡充を約束。新年度、補聴器購入補助金は2倍の5万円、紙おむつ支給も所得要件緩和で、ほぼすべての高齢者が対象となり、さらに緊急通報システムの無料化も実現しました。

日本共産党 足立区議団 だからできる!



区民の声を最優先

- 毎年16万世帯にアンケートを実施
- 区民の生の声から政策を提案

行政のチェック

- 統一協会と足立区政の癒着を断ち切る!
- 住民要望のない税金の無駄づかいを正す

粘り強く提案

- コロナ対策の緊急申入れ25回以上
- 毎年財源を示し、予算修正案を提案。多くの項目が実現

税金のためこみにメス
ためこんだ積立金1807億円(全国で4番目)のほんの一部を活用しただけでも区民応援の施策は実現できます